

# 地質調査技士に合格して

応用地質（株） 今井 雄輝



私は平成30年度（第53回）地質調査技士資格検定試験を受験し、幸いにも合格することができましたので、その際の合格体験記を書かせていただきます。

## 【受験するにあたり】

まず、地質調査技士について知ったのは、現在の会社に入社してしばらく経ってからでした。「地質調査技士」という資格が存在し、地質調査業に関わる仕事をする上では大変重要な資格であること、そして多くの先輩社員が受験していることを知りました。まだ私自身に地質調査技士の受験資格がない頃でしたが、数年後には受験することになると思っていました。

## 【受験勉強】

最初に受験申し込みをしましたが、申し込みをする際に、受験願書に実務経歴を書いたり、添付書類で大学の卒業証明書が必要だったりしたため、早めに余裕をもって申し込みすべきと感じました。

受験申し込み後、なかなか受験勉強を始めることができず、勉強を始めたきっかけは6月に受講した事前講習会でした。事前講習会は時間も限られているため、テキスト内の重要なところをピンポイントで解説していただけるものでした。講習会後は、試験まで残り約1ヶ月間ですが、自分で必死に勉強しました。

勉強は講習会のテキストと過去問を主に使用して進めました。午前中のマークシートの試験対策として、数年分の過去問を解きました。問題を見ると出題範囲も広く、初めて目にする専門用語や内容が多かったですが、とりあえず過去問を解き、

選択肢の正解や間違いの理由をテキストやインターネットで探すようにしました。過去問を数年分こなすことで、似たような問題があることに気づき、徐々に理解できる問題も増えてきました。

午後の記述式では、例年同じような問題が出題されていたため、自分で問題に対する解答例を作成し、それを何回か書いて理解・暗記するようにしました。最近PCでの文章作成の機会が多く、手を動かして長文を書くことがあまりなかったため、案外苦労しました。

## 【試験当日】

試験は午前3時間、午後2時間と長時間のため、体調だけは整えて試験に臨みました。試験問題については勉強したにもかかわらず、やはり分からない問題がありましたが、分かる問題だけは確実に正答を取ろうと何度も見直しを行いました。時間を気にしつつ、とにかく落ち着いて必死に解きました。

## 【終わりに】

試験後、しばらくして合格通知が届き、無事に地質調査技士試験に合格することができました。

合格後の登録も済ませ、ひとまず地質調査技士の資格を持つことができましたが、これからも地質調査技士としてふさわしい働きができるように、技術に関する日々の研鑽は必要です。地質調査技士試験の受験を機に、積極的に地質調査や周辺技術について知識や経験を積んでいきたいと思います。

## (株)新東京ジオ・システム 後藤 啓太



入社して地質調査に携わるようになってから早くも四年目となり、受験資格を満たした為、本資格にチャレンジしました。

### ①受験準備

地質調査技士検定試験の勉強方法は、とにかく過去問を解くことと上司に聞いたので、願書提出後3年分の過去問内容を確認したところ、日々の業務に直接係る部分はわかりましたが、間接的な部分はほぼわかりませんでした。

過去問の回答には正解の番号しか書かれていない為、事前講習会でテキストを入手してから勉強することにしました。

事前講習会は、日々の業務に直接係らない分野の理解も深めることができました。また、近年の出題傾向がまとめられていた為、勉強する範囲をある程度絞れたのは、準備時間の効率化につながりました。

事前講習会後は、勉強するのが嫌にならないように1日1章ずつテキストを一通り読みました。

その後、過去問を解いてみると、ほとんどテキストにかいてある問題だったのであらかた解くことが出来ました。理解不十分な問題は上司に質問し知識を深めました。

記述式問題の倫理綱領については日頃から実践していることを考えながら覚えていくことで定型文と日々の行動とを結びつけることができ、何も考えず暗記す

るよりも吸収が早いように感じました。

地質調査技術等に関する記述式問題は、過去問を見る限り、日々の業務で携わっているような内容だったので、過去に実施した調査業務の内容を再確認しました。

### ②試験当日

四肢択一問題は、いくつか初めて見る問題もありましたが、ほとんどが過去問やテキストの内容から出題されていました。

記述式問題の倫理綱領は、全て書き出すだけだったのでそのまま書いたところ、答案用紙の終盤で文字数がオーバーすることに気付き、要点だけ抜いて書き直しました。

地質調査技術等に関する記述式問題は、直近に携わっていた業務内容について、概要版を作るような要領で書きました。記述式問題を解いて感じたのは、試験前に文字数を意識して解答用紙に書き出したほうが良いということでした。

### ③試験を終えて

試験を受けたことによって、地質調査に関する知識の幅を広げられたのはもちろん、業務に対するモチベーションも上がったように感じました。

今回、地質調査技士を取得し新たなスタート地点にたつたので、これからの業務にも真摯に取り組み、成長していきたいと思います。

## (株) 自然科学調査事務所 東屋 知宏



今年度、地質調査技士資格検定試験（現場技術・管理部門）に何度目の挑戦かは忘れましたが、無事合格することができました。

最近の試験内容は以前と比較すると、出題数及び出題範囲が広がったため、本番までの準備がとても厳しいものと感じました。また仕事もあるため、1日のうちどのくらいの時間を掛けられたかはあまり覚えてはいませんが、それでも時間を見つけては勉強するという日々だったと思います。約1～2ヶ月間ですが、自分の受験対策について以下に示そうと思います。

### [択一式問題]

約5年分の過去問を解きながら、分からないところは事前講習会で頂いたテキストを活用することを繰り返し行い、テキストの内容を把握することに力をいれました。

### [記述式問題]

必須である倫理綱領をひたすら書き、

とにかく丸暗記しました。また選択問題は、これまで自分がやってきた業務を確認し、業務の内容を把握することに力をいれました。

試験当日は早朝に出発ということで、前日は早めに就寝し、体調万全で試験に挑みました。

午前の部は、択一式問題が100問もあり、大ボリュームでありましたが過去問やテキストの内容から多く出題されていると感じました。

午後の部は、暗記と今までの業務で得た知識により、解答用紙の余白がほぼ無い程度に記述することができました。

今回の受験で感じたことは、これまでの業務で得た知識で十分対応できたので、日々の業務に真剣に取り組むことが一番の糧になると思います。

まだまだ覚えることはたくさんあると思いますが、今後、技術者として更なるレベルアップを目指し、真摯に業務に取り組んでいきたいと思っています。